

ユーザーマニュアル

# cMT シリーズ HMI で CODESYS 機能を アクティベートする

本マニュアルでは、cMT シリーズ HMI で CODESYS 機能のアクティベーション手順について紹介します。

UM018005J\_20180726

---

## 目次

1. 概要 .....	1
2. 対応機種 .....	1
3. アクティベーション手順 .....	2
HMI でアクティベートする .....	2
ネットワークサーバーでアクティベートする .....	6
4. アクティベーションエラーコード .....	11

## 1. 概要

有効な CODESYS アプリケーションライセンスをお持ちの場合、cMT シリーズ HMI で CODESYS PLC の機能を使用できます。本文書では、アプリケーション関連の所要手順について紹介します。CODESYS プロジェクトを作成したい場合、“cMT+CODESYS 及び Remote I/O のクイックスタートガイド”をご参考ください。

HMI がアクティベートされた場合、取り消しができないので、ご注意ください。

## 2. 対応機種

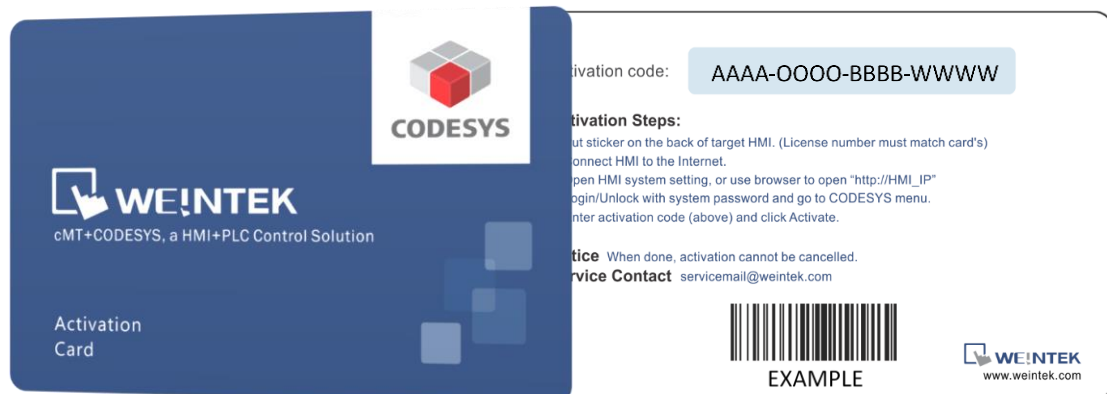
1. cMT3072 に OS ver. 20180426 または以降のバージョンを搭載
2. cMT3090 に OS ver. 20180410 または以降のバージョンを搭載
3. cMT3151 に OS ver. 20180426 または以降のバージョンを搭載

### 3. アクティベーション手順

HMI で、またはウェブサーバーを通じて CODESYS 機能をアクティベートできます。

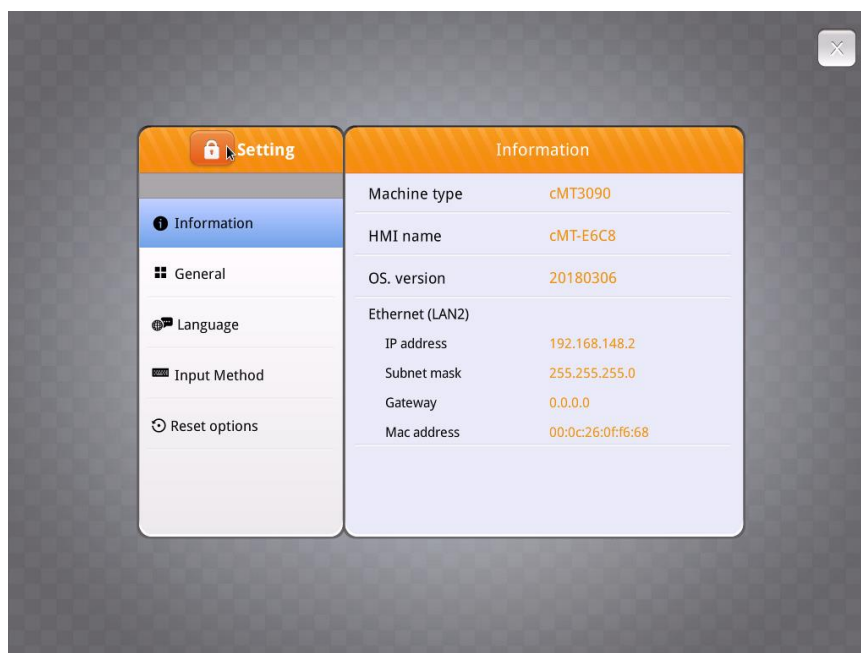
#### HMI でアクティベートする


- Step1.** ライセンスステッカー付きの CODESYS アクティベーションカードを取得する必要があります。カードでのシリアル番号(頭文字は CN)はステッカーに表示されたシリアル番号と一致しなければなりません。
- Step2.** ライセンスステッカーを HMI の背面に貼り付けます。
- Step3.** アクティベーションカードのシルバースクラッチ印刷部を削ってアクティベーションコードを見つけます。



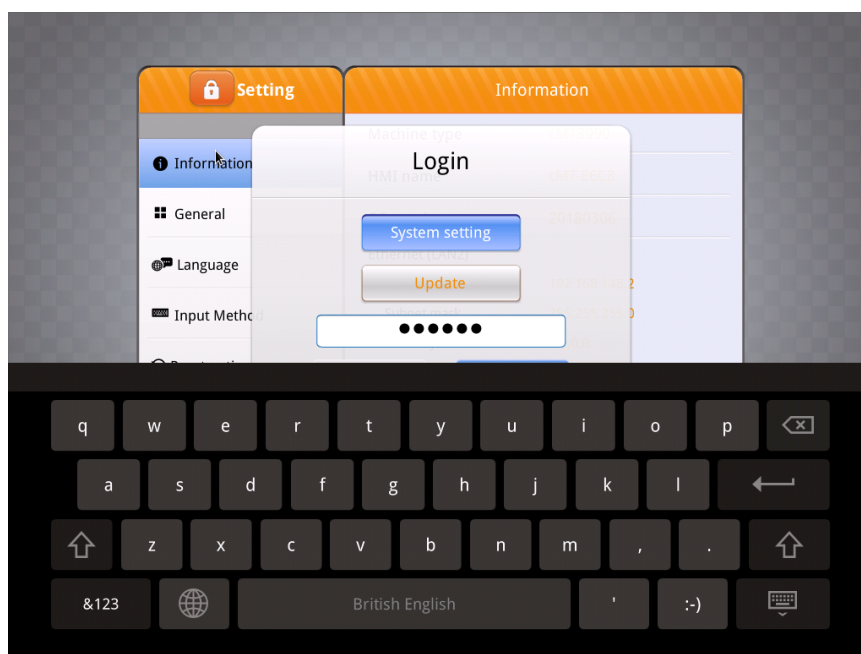
- Step4.** HMI をインターネットに接続します。
- Step5.** HMI で Start ボタンをクリックすれば、HMI のシステム設定ウィンドウを呼び出すことができます。



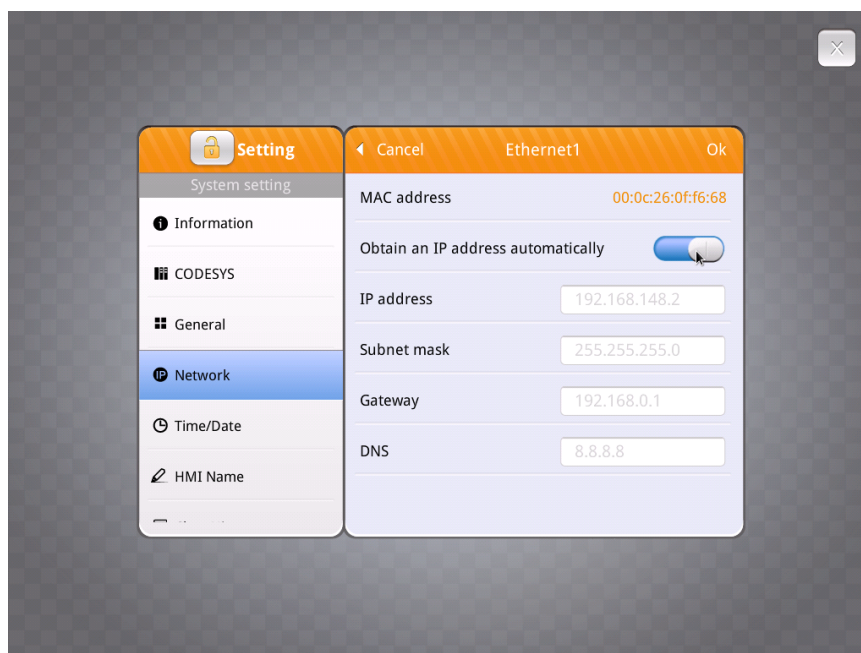


**Step6.**  ボタンをタッチすれば、システム設定のロックを解除できます。

**Step7.** システムパスワードを入力し、**Ok** を押します。(デフォルトパスワードはユーザーマニュアルをご参照ください)



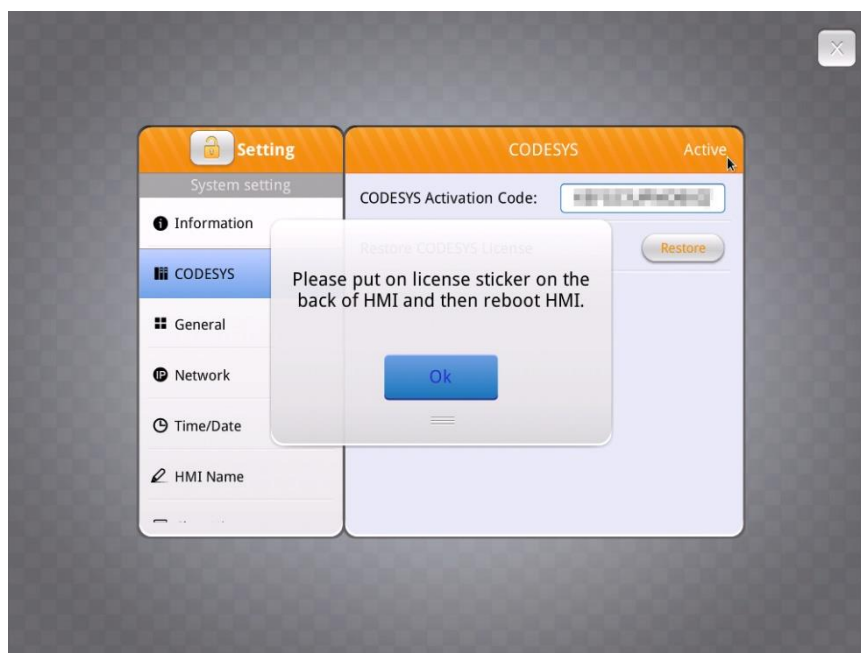
**Step8.** **Network** タブで HMI のネットワーク設定を確認します。変更した場合、**Ok** を押して設定を保存します。ローカルネットワークにルーターがある場合、HMI は自動的にネットワーク設定を取得できます。



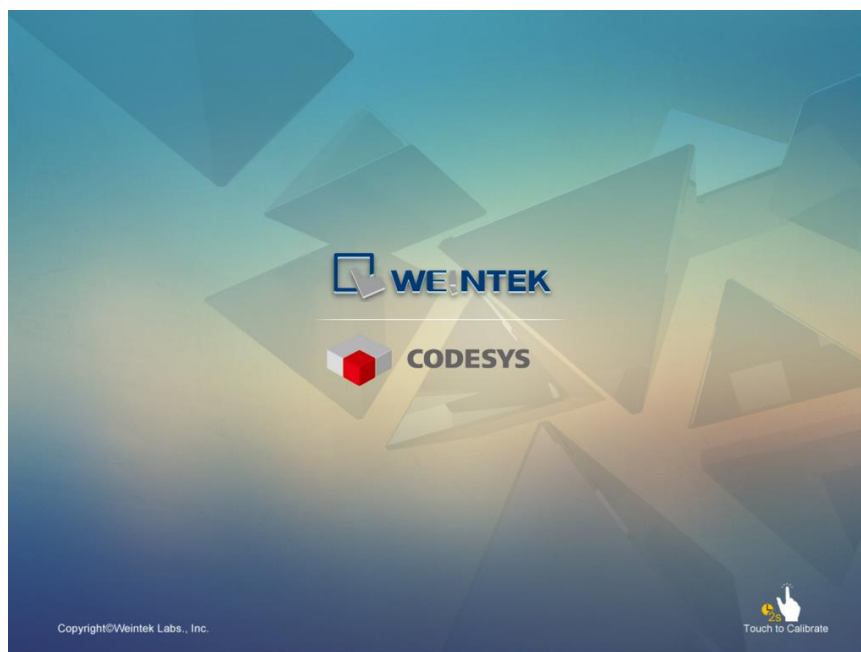
**Step9.** CODESYS タブでアクティベーションカードに表記されたアクティベーションコードを入力します。**Activate** を押し、CODESYS 機能をアクティベートします。



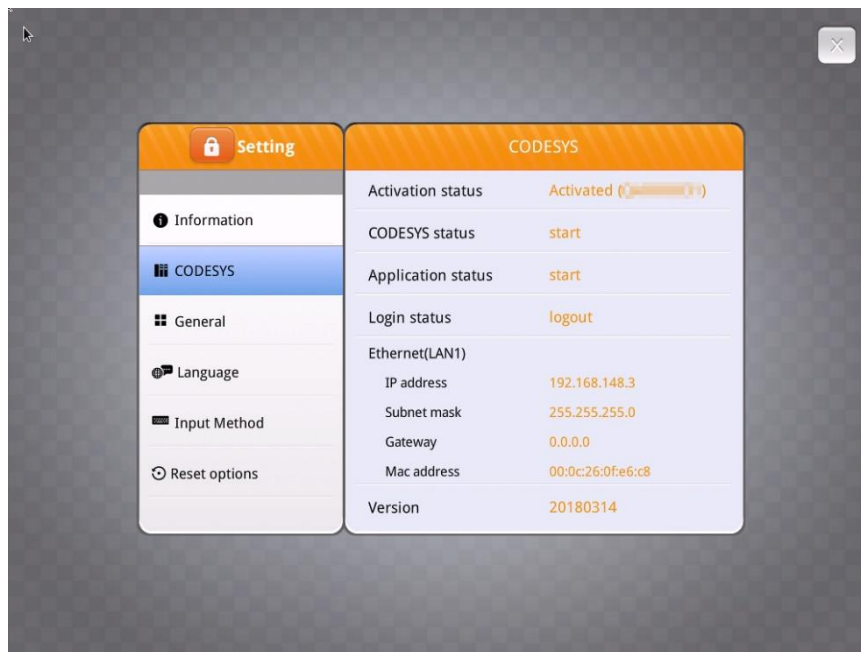
**Step10.** アクティベーションに成功すると、“Please put on license sticker on the back of HMI and then reboot HMI.”のメッセージがポップアップされます。本ステップで問題に遭ったら、本文書の最後の節：“アクティベーションエラーコード”にご参考ください。



**Step11.** アクティベーションに成功したら、HMI を再起動してください。この時に起動画面では **CODESYS** の商標が見られます。

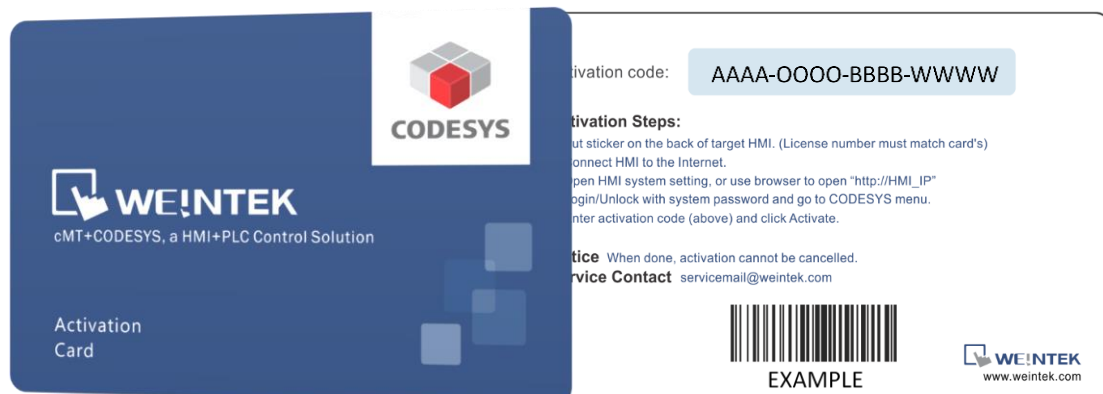


**Step12.** HMI を起動した後、**Start** ボタンをタッチしてシステム情報ウィンドウを呼び出すと、ウィンドウ内で **CODESYS** タブが追加されたのが見えます。



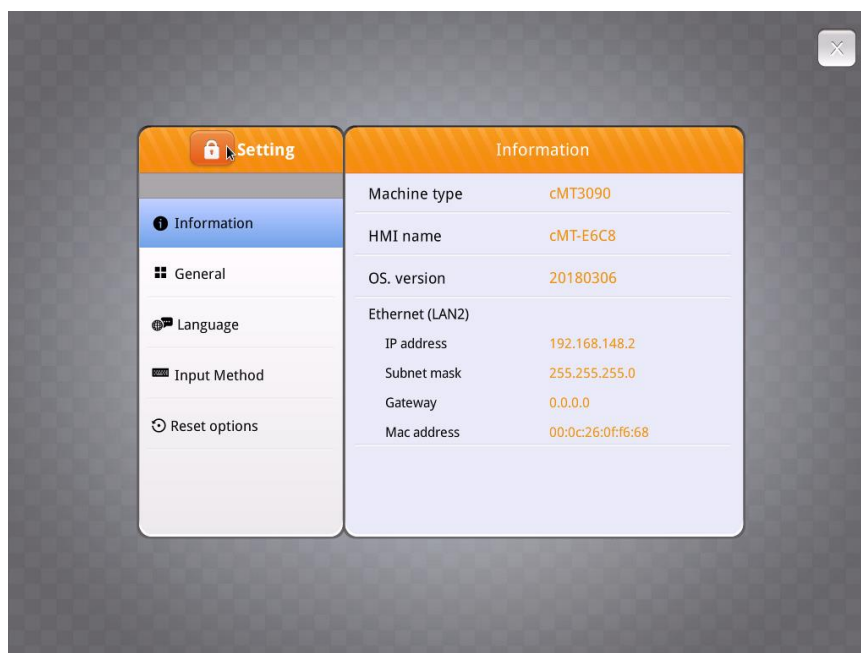
### ネットワークサーバーでアクティベートする

- Step1.** ライセンスステッカー付きの CODESYS アクティベーションカードを取得する必要があります。カードでのシリアル番号(頭文字は CN)はステッカーに表示されたシリアル番号と一致しなければなりません。
- Step2.** ライセンスステッカーを HMI の背面に貼り付けます。
- Step3.** アクティベーションカードのシルバースクラッチ印刷部を削ってアクティベーションコードを見つけます。

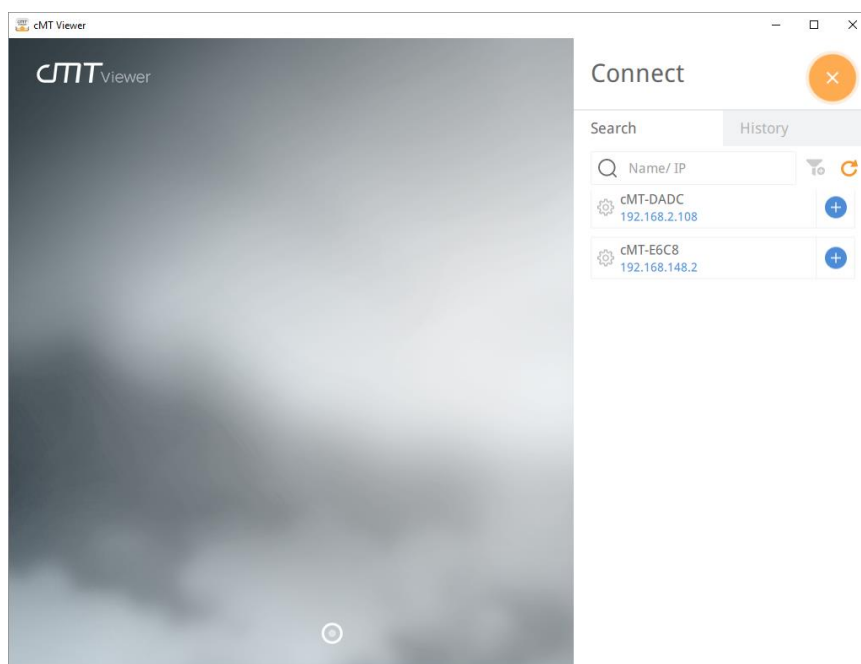


- Step4.** HMI をインターネットに接続します。
- Step5.** 以下の方法で HMI の IP アドレスを探し出すことができます：
- (1) HMI のシステム設定ウインドウをオープンして IP アドレスを確認します。

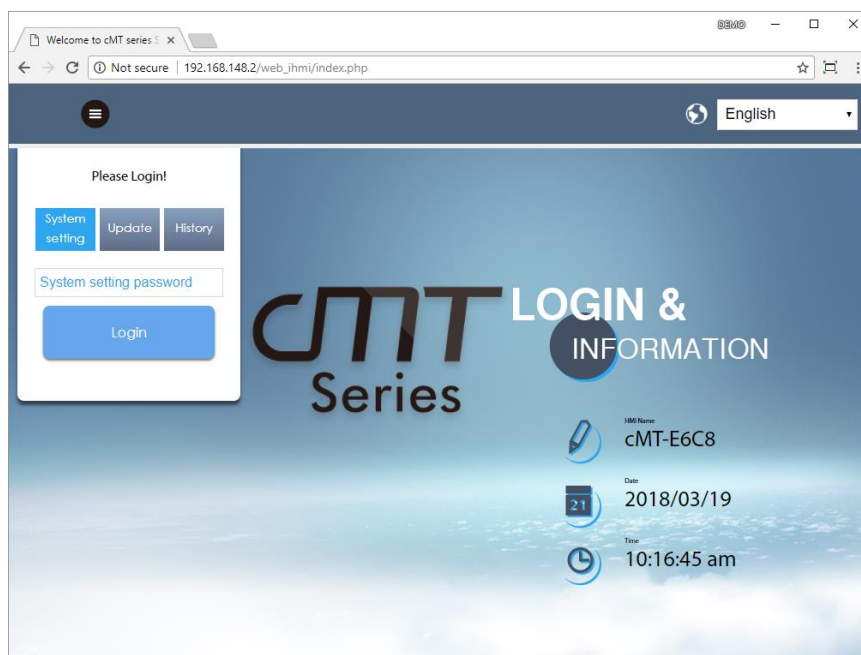




(2) cMT Viewer をオープンして当該 HMI を検索します。

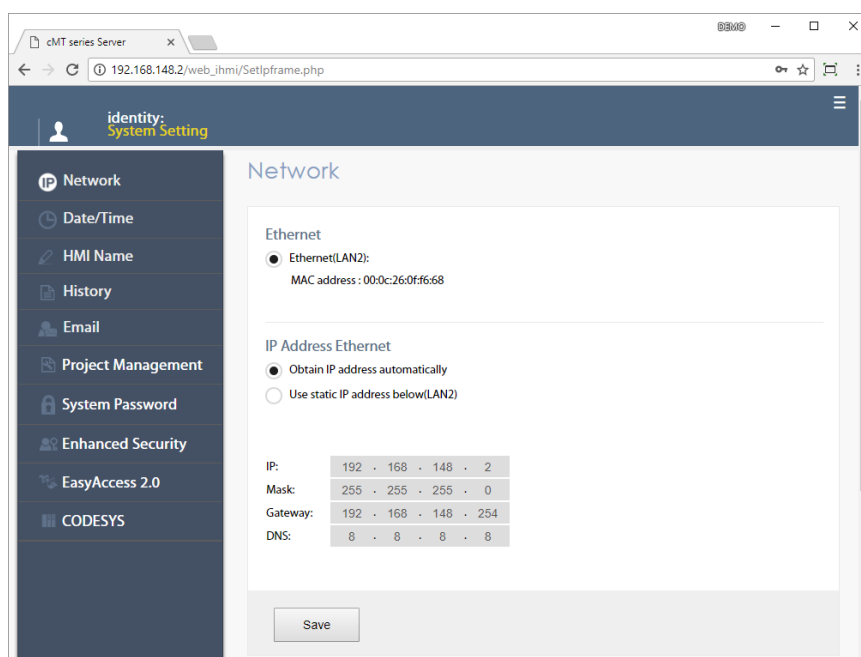


**Step6.** ウェブブラウザで HMI の IP アドレスを入力します。例えば、IP アドレスが 192.168.0.211 の場合、アドレス欄で“http://192.168.0.211”を入力し、Enter をクリックします。cMT Viewer を使用する場合、設定ボタンをクリックしてください。

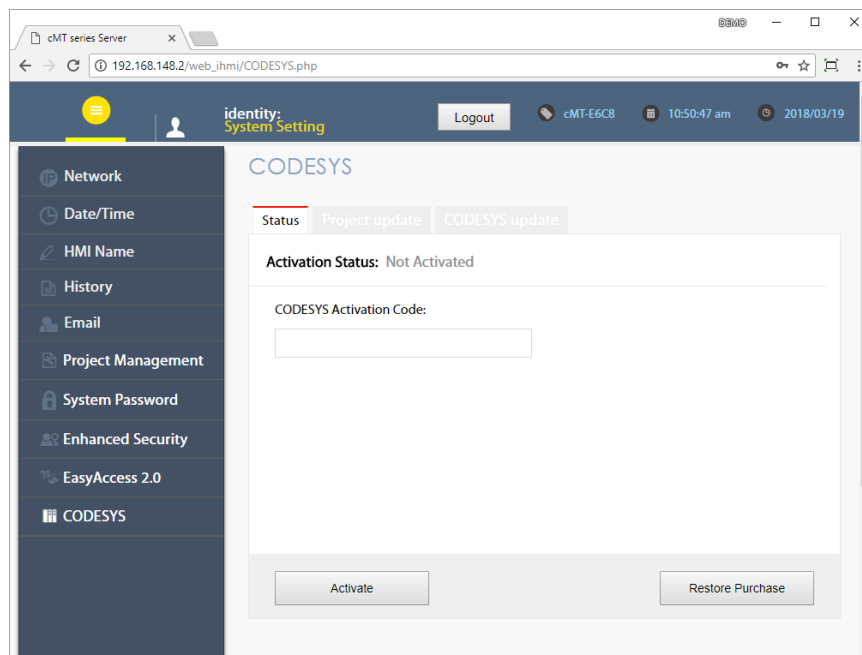


**Step7.** システムパスワードを入力し、**Ok** をクリックします。(デフォルトパスワードはユーザーマニュアルをご参照ください)

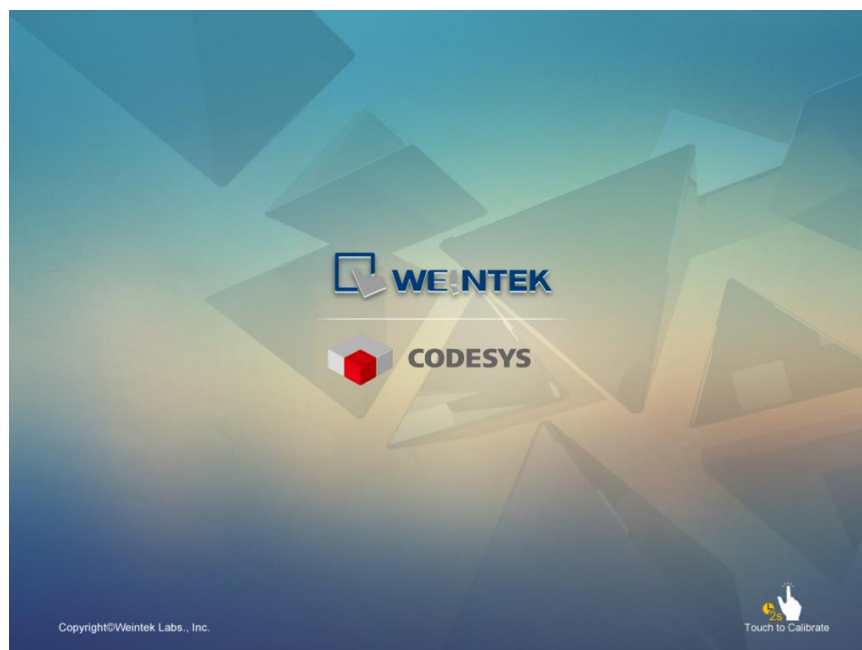
**Step8.** Network タブで HMI のネットワーク設定を確認します。必ず Gateway と DNS を設定してください。



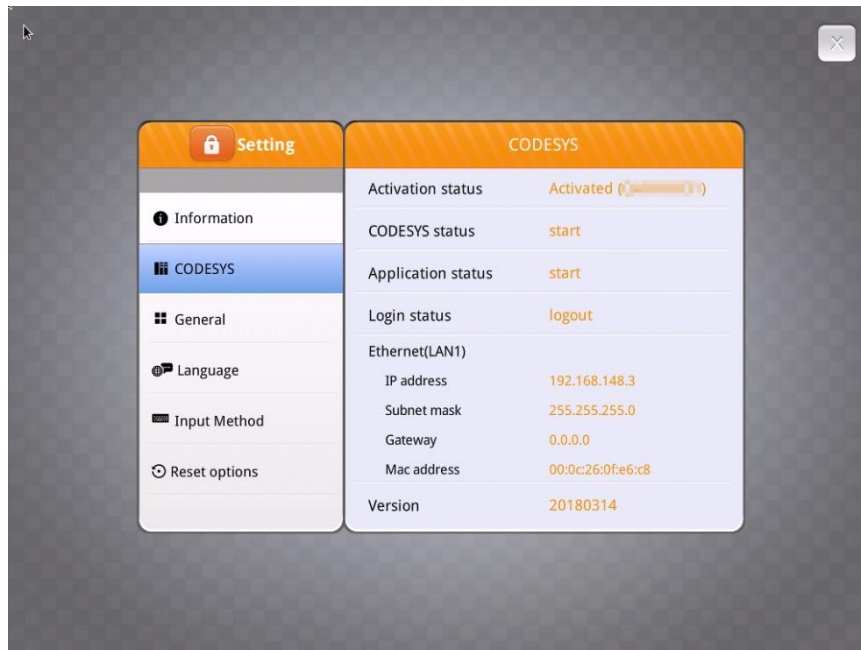
**Step9.** CODESYS タブでアクティベーションカードに表記されたアクティベートコードを入力します。**Activate** をクリックし、CODESYS 機能をアクティベートします。



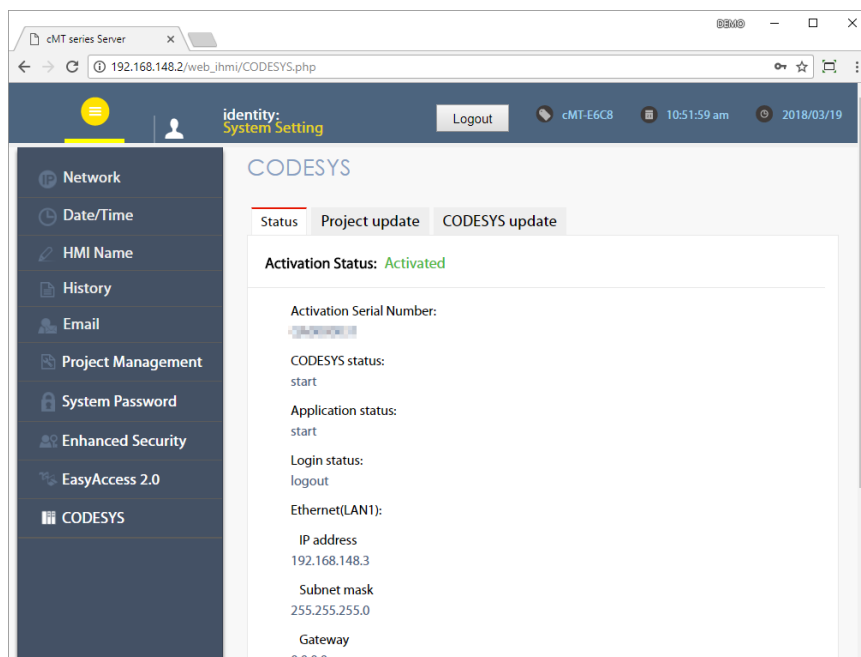
- Step10.** アクティベーションに成功すると、“Please put on license sticker on the back of HMI and then reboot HMI.”のメッセージがポップアップされます。本ステップで問題に遭ったら、本文書の最後の節：“アクティベートエラーコード”にご参考ください。
- Step11.** アクティベーションに成功したら、HMI を再起動してください。この時に起動画面では CODESYS の商標が見られます。



- Step12.** HMI を起動した後、**Start** ボタンをタッチしてシステム情報ウィンドウを呼び出すと、ウィンドウ内で CODESYS タブが追加されたのが見えます。



**Step13.** HMI のネットワークサーバーをオープンすれば、CODESYS タブも見られます。この場合、本タブで CODESYS プロジェクト及びファームウェアを更新することができます。





#### 4. アクティベーションエラーコード

- エラーコード 100 : HMI にはインターネットの接続がなく、または認証サーバーに接続できません。
- エラーコード 103 : このライセンスは既に使用されました。
- エラーコード 104 : HMI は既にアクティベートされました。[購入を復元する]機能を使用してみてください。
- エラーコード 107 : HMI はまだアクティベートされていません。有効なアクティベーションコードでアクティベートしてください。